

## グループ原油処理能力の削減について

記者各位

当社(社長:木村康)は、大阪製油所の大阪国際石油精製株式会社への移管に伴う輸出製油所化(10月1日付け)、および根岸製油所の原油処理能力削減(10月31日予定)を行うことにより、2011年3月末までに実行することとしていたグループ原油処理能力の日量40万バレル削減(2008年12月比)を完了することとなりましたので、お知らせいたします。

今後は、さらに、2014年3月末を目途に日量20万バレルを削減することにより、国内トップの競争力を有する製油所体制を構築してまいります。

### 【JXグループの原油処理能力※の推移(今後の計画含む)】

2008年12月時点	1,792千BD	(旧新日本石油グループ、旧ジャパンエナジーグループ計)
2009年 3月末	1,732千BD	日本海石油株式会社 富山製油所(60千BD)廃止
2010年 5月末	1,687千BD	大分製油所 第1トッパ―(24千BD)廃止 鹿島石油株式会社 鹿島製油所 第1トッパ―の原油処理能力を21千BD削減
2010年 6月末	1,577千BD	水島製油所 旧新日本石油第2トッパ―(110千BD)廃止
2010年10月1日	1,462千BD	大阪製油所(115千BD)を大阪国際石油精製株式会社へ移管のうえ輸出製油所化
2010年10月末 (予定)	1,392千BD	根岸製油所 第2トッパ―(70千BD)廃止予定 →2008年12月比 400千BD削減
2014年 3月末まで	1,192千BD	(更に200千BD削減予定)

※ 製油所の規模を表す原油処理能力は、トッパ―(常圧蒸留装置)の通油能力により示される。

以上